

南アルプス市 総務部 税務課 資産税担当  
主事

高野 翔太

Shota Takano



私は平成31年度に南アルプス市役所に採用され、税務課資産税担当に配属されました。

業務内容は、主に固定資産税（土地・家屋）の賦課業務と、固定資産に関わる証明書の発行です。

まず感じたことは、先輩方の知識量の多さです。これから公務員として働いていく上で、膨大な知識を身につけていくことが必要不可欠だと感じました。当初から先輩方が対応している際の会話からも学ぶことを意識してきました。現在は、身につけた知識を活かし、問い合わせに対してわかりやすく納得のいく説明をするよう心がけています。

固定資産税の賦課業務は、一年をかけて完結すること、そして私たちの判断が税額に影響を与えるという点から、重要性が高く、責任を伴う業務であると実感しています。このような業務を担当できることに誇りを持ち、一生懸命日々の業務に臨んでいます。

配属されて一年が経とうとしています。ここまで辿り着けたのは、先輩方の支えがあったからです。感謝の気持ちを忘れず、これからは私が支える立場になれるよう努めていきたいと思っています。

## 市町村職員

甲斐市 教育部 図書館  
主事

川戸 美奈

Mina Kawato



私は平成31年度に甲斐市役所に採用され、専門職の司書として図書館に配属となりました。仕事は主に、資料の貸出・返却等の窓口業務、雑誌・新聞の受入・管理業務、子ども向けイベントの企画・運營業務等を担当しています。

図書館では子ども向けイベントとしておはなし会をしています。私はおはなし会で初めて絵本の読み聞かせをしました。最初はとても緊張し、練習の成果を出せませんでした。しかし、「絵本を読む人も楽しんで読まない子どもたちも楽しくないよ」という先輩方からの指導を受け、緊張をしないように子どもたちと一緒に楽しんで読むことを心掛けるようにすると、だんだん上達していくことができました。

今でも至らないところばかりですが、司書として一人前の仕事を行うことができるように、上司や先輩方にご指導していただいたことを心に留め、日々勉強して知識を蓄えながら多くの経験を積み重ねていきたいです。業務やお客様に対して上司や先輩方のように適切な対応を行うことができるよう、精進していきたいと考えています。



市川三郷町 生涯学習課 町立図書館係 司書

## 折居 花音

Kanon Orii



私は平成31年4月に司書職として、市川三郷町に採用されました。現在は新町立図書館の令和2年1月の開館に向け準備をしています。開館準備中というイレギュラーな状態の中、7万点に及ぶ資料の整理、「出張おはなし会」などのイベントの開催、県内の図書館合同の研修や勉強会への参加など、日々様々な業務を行っています。部署の先輩方が非常に頼もしく、安心して事務ができています。以前の4.3倍の規模となる新図書館の開館後はさらに多忙な日々が待ち構えています。利用者に必要なサービスが提供出来るだろうかとやや不安な気持ちもありますが、それ以上に新図書館の開館事業に関われることへのやりがいを感じています。

大学時代に受けた司書資格の講義の中で忘れられない言葉があります。それは「司書は好きを原動力にする職業である」というものです。この1年弱、部署内の先輩方や他館の司書の皆さんの言動を目にして、何より自分が働いてみてこの言葉がより実感できました。これからも資料への、図書館を利用する利用者への、地域への親愛を第一に業務をしていきたいと強く思います。



早川町 教育委員会 教育課 教育担当 主事補

## 木本 貫太

Kanta Kimoto



私は平成31年4月に早川町役場の職員として採用され、教育委員会教育課へ配属となりました。

主に町のスポーツの振興や、スポーツ施設の管理等を担当しています。スポーツの振興といっても様々ですが、特に大会やイベントを開催しています。私の町は、日本一人口が少ない町で高齢者の方々が非常に多い町です。そういった中、お年寄りでも気軽にできるスポーツを中心に大会等を開催し、1人でも多くの町民の皆さんがスポーツを身近に感じられるよう努めています。また、競技ルールも正規のものとは少し変更するなど、町民の皆さんが親しみやすいように工夫することを心掛けています。なかなか、参加者が集まらず、苦勞する点も多いですが、イベントや大会等に参加していただく町民の皆さんが楽しそうにスポーツをしているのを見ると非常にやりがいのある仕事だと実感します。

業務や町の知識、社会人としての経験などまだまだ未熟な私ですが、今後も先輩方のご指導をいただきながら頑張っていきたいです。

## 宝くじ販売促進のための緊急対策について

宝くじの売上が、年々減少傾向にある中、全国自治宝くじ事務協議会において、宝くじ販売促進のための緊急対策を実施することが決定されました（令和元年12月16日開催、令和元年度第4回全国自治宝くじ事務協議会）ので、その取り組みについて紹介します。

本協会でも、サマージャンボ宝くじ及びハロウィンジャンボ宝くじの売上確保に向けて、各種PR活動に努めて参りますので、各市町村におかれましても、魅力あるまちづくりのための貴重な財源である宝くじの販売促進に、引き続きご協力をいただけますようお願いいたします。

### 1 背景及び課題

宝くじの売上は、平成17年度の1兆1,000億円をピークとして、中長期的に減少傾向にあります。

この背景としては、20代、30代といった若年層の購入割合が低下していること、売場の減少に伴い販売機会が減少していること、他の公営競技に比ベインターネット販売のシェア率が低いことが挙げられ、また、赤字による売場廃止に伴い、売上の減少がさらに加速することが懸念されます。

今後も宝くじによる収益を安定的に確保していくためには、新規の若年層の購入促進による売上の増加や既存顧客を対象とした売場の売上維持を図る必要があります。

具体的には、①若年層に対する魅力ある商品の投入、②若年層がアクセスしやすいインターネット販売の充実、③地方を中心とした売場の廃止による既存顧客の剥落の抑止に取り組む必要があります。

そこで、インターネット販売の本格的導入という好機を最大限に生かし、令和2年度から令和4年度の3カ年で販売促進のための緊急対策が実施されます。

### 2 「緊急対策」の具体的内容（令和2年度）

#### (1) 若年層への販売促進策（課題①、②に対応）（所要額 約30億円）

宝くじに対するイメージの向上を図り、新規の若年層を取り込むため、新たなブランディング広告の展開等を行います。

#### (2) インターネット販売促進策（課題①～③に対応）（所要額 約80億円）

令和4年度までに、平成30年度対比で公式サイト会員登録数を約280万人増の330万人にするとともに、インターネットでの販売額を約950億円増加させることを目標に、顧客還元型のキャンペーン等を実施します。

#### (3) 売場での販売促進策（課題③に対応）（所要額 約35億円）

1売場当たりの売上額を増加させ、売場の売上減少に歯止めをかけるため店頭限定の各種キャンペーン等を行っていきます。

### 3 「緊急対策」の実施に要する財源

緊急対策の実施により一時的に経費が増加することから、通常経費の枠外で、時限での特別な財源対策を講じる必要があります。広報宣伝費等の既存経費の見直しを図ることにより、約20億円を削減し、ブランディング広告や当せん金率の引き上げに充当します。

また、時効当せん金が本来顧客に還元されるべき資金であることを踏まえ、前々年度に納付された時効当せん金相当額（令和2年度：約125億円）を上限に、当該年度の宝くじ予算における収益（見込）額から減額し、当せん金率の引き上げや顧客還元を中心としたキャンペーン等に充当します。

この緊急対策の実施により、平成30年度対比で最低でも3カ年累計1,000億円の売上増を目指していきます。

令和2年度

サマージャンボ宝くじ 発売期間 7月14日(火)～ 8月14日(金)  
ハロウィンジャンボ宝くじ 発売期間 9月23日(水)～ 10月20日(火)





小野 貴史さん

Takashi Ono  
(葦崎市 総務課 危機管理担当  
副主査)

## 「防災情報伝達手段の多重化・多様化」 の取り組み



「防災アプリ」のホーム画面

一昨年から防災行政無線のデジタル化を進め、スマートフォンへPUSH配信する防災アプリを開発しました。このアプリは、防災行政無線放送を即時に音声と文字で配信が可能です。「いつでも・どこでも・何度でも」確認することをキャッチフレーズに、各種団体の会議やお祭りなどのイベントで周知していますが、高齢者等には登録が難しい、若い世代は防災意識が低いなどの理由により登録者が増えないところが課題でした。

しかし、昨年の台風19号で県内初の「大雨特別警報」が発表され、本市においても初の「警戒レベル4避難指示（緊急）」を発令したところ、翌日にはアプリの登録者が急増し、市民の防災への意識が高まったと考えられます。アプリ登録者は2月25日現在4,235人（市民の約14.5%）です。

防災意識が高まっている今が好機と捉え、市民全員が素早く正確な情報を受け取ることができるよう、ガラケーの方はメールマガジンの登録、携帯電話が無い方は電話聞き直しサービスや戸別受信機の無償貸与、ホームページやTwitterへの配信など、スマートフォンをお持ちでない方も防災情報を受け取れる手段を含め、今後も継続して粘り強く周知していきます。

## AFTER NOTES

### 編集後記

今回の特集は、AI・RPA 活用による業務効率化が全国的に注目されている中、山梨県をはじめ、県内自治体等の取り組みについて紹介しました。

また、年々減少傾向にある宝くじの販売促進を図るため、全国自治宝くじ事務協議会において決定した緊急対策（令和2年度から令和4年度の3カ年で実施）について紹介しましたが、市町村にとって貴重な財源となっているサマージャンボ宝くじ及びハロウィンジャンボ宝くじの販売促進について、引き続き皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

最後に、特集をはじめ各コーナー等、本号の発行にあたり、ご多忙の中執筆いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

### 市町村職員情報誌「やまなし自治の風」編集委員会

役職名	団体名	補職名	氏名
委員長	山梨県市長会	次長 総務課長事務取扱	村松 広幸
副委員長	南 部 町	企画課主事補	四條 将也
委 員	大 月 市	企画財政課主任	鈴木 唯一
	上 野 原 市	政策秘書課主任	佐々木 芳
	山 梨 市	政策秘書課主事	堀内 聖斗
	甲 州 市	政策秘書課主査	風間 一志
	中 央 市	政策秘書課主査	河野 諭
	身 延 町	企画政策課主任	佐野 梨沙
	昭 和 町	企画財政課主任	渡辺 晃次
	道 志 村	ふるさと振興課主任	杉本 悠
	富士河口湖町	総務課主任	渡辺 久高
	山 梨 県	市町村課主任	中澤 敏也
山梨県町村会	振興課副主査	大森 充	



# 東京2020オリンピック 自転車競技ロードレース 山梨県で応援しよう!



© Tokyo 2020

開催日程 男子:2020年7月25日(土) 競技時間11:00~18:15  
女子:2020年7月26日(日) 競技時間13:00~17:35



**紹介動画配信中!**  
コースやロードレース競技について紹介しています。制作:山梨県  
<https://www.pref.yamanashi.jp/olymp-para/roadpv.html>